

事故ゼロプラン

事故危険区間重点解消作戦

事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)とは

『事故ゼロプラン』では、「選択と集中」、「市民参加・市民との協働」をキーワードとして、事故データや地方公共団体・地域住民からの指摘等に基づき交通事故の危険性が高い区間(事故危険区間)を選定し、地域住民への注意喚起や事故要因に即した対策を重点的・集中的に講じることにより効率的・効果的な交通事故対策を推進するとともに、完了後はその効果を計測・評価しマネジメントサイクルにより逐次改善を図ることとしています。

事故危険区間リストが新たに追加されました

北海道開発局では、交通安全分野における「成果を上げるマネジメント」に取り組むため、学識経験者等からなる「北海道交通事故対策検討委員会」の意見を伺いながら、平成22年度～平成28年度まで道内の国道における事故危険区間1,328区間を選定・公表しました。このうち、室蘭開発建設部は103区間が選定されました。

平成31年3月から令和元年9月にかけて開催された「北海道交通事故対策検討委員会」の意見を踏まえ、事故危険区間101区間(道道等含む)を令和元年に追加しました。このうち、室蘭開発建設部は9区間が選定されました。

また、令和5年3月に開催された「北海道交通事故対策検討委員会」にて、新たに273区間(道道等含む)が選定され、そのうち、室蘭開発建設部管内の国道は35区間が新たに追加されました。今回から、事故危険区間の選定にあたり、近年の社会情勢の変化等による自転車ニーズの増加に伴う「自転車事故リスク」と渋滞に起因する交差点周辺での事故削減のため「渋滞起因事故多発」が新しく追加されました。

※検討委員会の内容および全道のリストについては北海道開発局ホームページ内の「[交通安全対策の推進](https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ky/dou_iji/ud49g70000008w0s.html)」のページをご覧ください。HPアドレス → https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ky/dou_iji/ud49g70000008w0s.html

室蘭開発建設部管内の対策工進捗状況

令和5年4月30日現在、新規追加区間を含めた選定147区間のうち、対策完了又は事業中は89区間、対策工検討中は58区間となっております。個別の対策状況については、事故危険区間リストより、ご確認ください。

▼事故危険区間の選定状況(H22～R1選定 室蘭開発建設部管内 国道)

選定条件		H22選定	H25選定	H28選定	R1選定
事故データに基づく選定	事故多発	5	3		3
	死亡事故多発	13			
	車線逸脱事故多発		4	1	
	事故危険箇所		2	4	
ヒヤリハットデータに基づく選定	潜在的危険区間			3	4
地域の声に基づく選定	通学路緊急合同点検		10	3	
	地域の声アンケート	30	10	15	2
合計		48	29	26	9

▼事故危険区間の選定状況(R4選定 室蘭開発建設部管内 国道)

選定条件		R4選定
事故データに基づく選定	事故多発	1
	死亡事故多発	4
	車線逸脱事故多発	
	事故危険箇所	5
自転車事故リスク		3
渋滞起因事故多発		4
ヒヤリハットデータに基づく選定	潜在的危険区間	1
地域の声に基づく選定	通学路緊急合同点検	
	地域の声アンケート	17
合計		35